

## 巻 頭 言

## 新編集の「生産研究」刊行にあたって

広報委員長 藤 田 隆 史\*

Takafumi FUJITA

平成 11 年度から広報委員会の出版部会（部会長 橋本秀紀助教授）で検討しておりました「生産研究」の改善案に関しては、各部の部会を通して教官の意見を承るとともに、意見分布を直接に知るために、平成 12 年 6 月に全教官を対象としたアンケート調査を実施し、次のような調査結果を得ました。

出版部会の提案に賛成：58 %

出版部会の提案に反対：25 %

その他：17 %

アンケート回収率：約 45 %

このアンケート結果を踏まえて、広報委員会は、平成 12 年 9 月に、以下の「生産研究」改善案を実施することを決定しました。

- (1) 分かり易い解説を中心とし、生研の研究内容を広く多くの人に知ってもらうための情報発信型の隔月刊誌とする。
- (2) 各号、Guest Editor（原則、生研教官に限る）を中心に編集作業を進める。出版部会は Guest Editor を補佐する役割を担う。
- (3) Guest Editor は生研教官からの申し入れにより、出版部会において選出する。
- (4) 従来の研究速報は隔月化された「生産研究」に随時掲載可とする。

- (5) 発展しつつある情報発信の形態に留意し、必要な改革を速やかに行う。
- (6) 編集作業等の詳細は別に定める。
- (7) 上記の改善は 2001 年 5 月号からとする。

新編集の「生産研究」はすべてが Guest Editor による特集号になりますが、具体的な編集の進め方は以下の通りです。

- [Step1] Guest Editor の募集。希望者は特集の狙い、内容、執筆者およびスケジュールを情報普及掛に提出。
- [Step2] 出版部会にて Guest Editor の選考を行い、結果を通知する。
- [Step3] Guest Editor は出版部会に出席し、特集号の説明を行う（代理可）。
- [Step4] Guest Editor は原稿の内容と進み具合を常時チェックし出版部会に報告する。出版 2 ヶ月前には出版部会にて報告（代理報告可）。出版部会は必要な支援を行う。

新編集の「生産研究」が情報発信の媒体として成功するかどうかは内容次第であります。その意味からも、橋本部会長が Guest Editor として編集された本号が今後の「生産研究」の良いお手本になることを期待しております。

\*東京大学生産技術研究所 情報・システム大部門